

19 陳情 第38号	ケービーバス百人町線に関する陳情
付託委員会	環境建設委員会
受理及び付託 年 月 日	平成19年12月7日受理、平成19年12月12日付託
陳情者	新宿区百人町 _____ _____
<p>(要 旨)</p> <p>ケービーバス百人町線が存続・増便できるよう、新宿区として財政面を含めた支援策を検討してください。</p> <p>(理 由)</p> <p>高田馬場駅から東中野駅を結ぶケービーバスは、平成14年3月に運行開始して以来、社会保険中央総合病院の通院や高齢者の足として地域の住民に利用されてきました。</p> <p>スタート当初から1時間に3本の運行で、決して本数が多いとは言えませんでした。そのような事情からなかなか利用者数が伸びず、平成17年11月からは1時間に2本に減便され、更に平成19年9月からは1時間に1本に減便されてしまいました。</p> <p>ケービーバスとしては、赤字を続けながらの運行は困難だと、平成18年の段階で撤退の意向を新宿区に対して示していたそうですが、平成19年から減便することで当面様子を見るという結論に至ったと聞き及んでいます。</p> <p>しかし、減便しても収支の関係では赤字幅は変わらないという話が伝えられており、このまま推移すれば、地域の高齢者や住民の足となっているバス路線が廃止されかねません。百人町では高齢化が進むとともに、都営団地の建て替えが進み、ますますバスを必要とする人が増えることが予想されます。</p> <p>他の自治体では、地域住民の足を守るため、民間のバス路線に対して行政が運行費補助をしているところもあると聞いています。存続が危ぶまれているケービーバス百人町線については、新宿区として運行費補助を含めた支援策を検討し、中野区とも協議しながらケービーバス百人町線の存続、増便のためにご尽力いただきますようお願いいたします。</p>	